

記 録

岡山県におけるアズマモグラ (トガリネズミ目, モグラ科) の記録

矢掛町 江木 寿男

Record of *Mogera imaizumii* (Soricomorpha, Talpidae) in Okayama Prefecture

Hisao EGI, Yakage-Town

はじめに

アズマモグラ *Mogera imaizumii* は、越後平野の一部を除く、本州の中部（静岡，長野，石川）以北一帯と新潟県粟島で見られる。また，孤立個体群が京都府・紀伊半島・広島県・四国の剣山・石鎚山などの山地や小豆島の一部に分布している日本固有種のモグラである（阿部ほか，2005）。「岡山県野生生物目録2009」（岡山県生活環境部自然環境課，2009）にはモグラ科の哺乳類として，ヒミズ *Urotrichus talpoides*，ミズラモグラ *Eurosaptor mizura*，コウベモグラ *Mogera wogura* の記載はあるが，本種の記載はない。今回，本種の具体的な記録を得ることができたのでその概要を報告する。

確認の概要

2017年10月1日，新見市大佐大井野の大佐ダム湖右岸（標高456m）を自動車で行き中に本種と思われる死亡した個体を発見した（写真1～5）。やや押しつぶされていたことから自動車等に踏まれたあとと思われる。下腹部が裂傷し血液と肉片が道路上にこびりついていてた。そのため体重は正確に測定できなかったが，その他の主な部位は損傷なく計測可能であった。

前足の形状から本個体がヒミズでないことは明らかであった。図鑑や文献に記載されているモグラ類と本件個体の主要部位の計測値を表1に示し

比較した。なお，性別は不明で，標本は筆者が保管している。

得られた計測値から判断すると，頭胴長が大きすぎることと尾長が小さすぎることからミズラモグラには該当しないと思われた。また，頭胴長が小さすぎることからコウベモグラには該当しないと思われた。阿部ほか（2005）のアズマモグラの計測値よりも頭胴長と後足長が小さいものの，江木ほか（2006）や藤原（1958）で報告された広島県産のアズマモグラの計測値に近く，本個体はアズマモグラと判断するのが妥当と判断された。アズマモグラはもっとも小型の地域（山地）個体群と太平洋側の大きな平野部に住む大型群では体重で2倍ほどの差があることを阿部ほか（2005）が報告している。

まとめ

今回発見した岡山県のアズマモグラについては，記録のある広島県等で人間が捕獲して岡山県に捨てられた可能性も完全に否定できない。しかし，本個体が採集地近くに元々生息しており，他の捕食動物に襲われて放置されたか，直接自動車等にはねられたと考えたほうが自然と思われる。また，モグラ類は大食漢で餌の確保が困難で飼育が難しくインターネット上で検索してもモグラ類を飼育・販売しているようなページは簡単には見つからなかった。これらのことから，飼育個体の人為移入と考えるよりは自然分布と考えたほうが妥当と思われる。

今回の記録は偶発的に1個体の死体を拾っただ

連絡先：egim@mx3.tiki.ne.jp

けであるが、本種の絶滅の危険性について考察してみたい。西日本に産するアズマモグラは孤立小個体群とされている（阿部ほか，2005）。コウベモグラに生息地を奪われながら生息条件の悪い山地に追いやられ遺存的に残っている個体群とも思われ、岡山県内でも生息面積が小さい可能性がある。しかし、これまで京都府～広島県の間は空白地帯と認識されていたが、今後兵庫県で確認されることがあれば、中国山地にある程度連続分布し生息面積はさほど小さくない可能性も考えられる。アズマモグラは、コウベモグラより個体数も生息面積も小さいことは確実であるが、現時点で情報が不足していることは間違いないと思われる。

謝 辞

香川県さぬき市在住の川口敏氏には本種についての文献を提供いただいた。記してお礼申し上げます。

引用文献

- 阿部永・石井信夫・伊藤徹魯・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明，2005. 日本の哺乳類 [改訂版]. 206pp. 東海大学出版会，秦野
- 江木寿男・栗木原秀文・川口敏，2006. 広島市におけるアズマモグラとヒミズの採集例. 比婆科学 (219) : 25-26.
- 江木寿男，2008. 岡山県におけるミズラモグラの採集例. 倉敷市立自然史博物館研究報告 (23) : 107-109.
- 藤原仁，1958. 広島県北部山地の哺乳類. 比和町立科学博物館研究報告 (1) : 1-13.
- 岡山県生活環境部自然環境課，2009. 岡山県野生生物目録2009. 379pp. 岡山県生活環境部自然環境課，岡山.
- 岡山県生活環境部自然環境課，2010. 岡山県版レッドデータブック2009 絶滅の恐れのある野生生物-動物編-. 417pp. 岡山県生活環境部自然環境課，岡山.

表1. 本件個体の計測値と文献でのモグラ類の記載値一覧表.

本件個体と種名および出典		頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後足長 (mm)	前足長 (mm)	体重 (g)
本件個体		115.8	16.4	14.7	14.4	30 (損傷あり)
ミズラモグラ <i>Eurosaptor mizura</i>	阿部ほか2005	80~106.5	20~26	13.5~15.4	記載なし	26~35.5
	江木2008♂	94.6	24	13.7	12.6	26
	江木2008♀	記載なし	21.8	12.7	11.3	記載なし
	藤原1958♀	92	25	13.5	記載なし	記載なし
アズマモグラ <i>Mogera imaizumii</i>	阿部ほか2005	121~159	14~22	16~21.5	記載なし	48~127
	江木ほか2008♂	110.6	18.6	14.2	14.9	33
	江木ほか2006♀	112.9	15.1	14.6	14.8	44
	藤原1958♂	107~121	16~19	15~18	記載なし	記載なし
	藤原1958♀	113~135	15~20	16~17	記載なし	記載なし
コウベモグラ <i>Mogera wogura</i>	阿部ほか2005	125~185	14.5~27	16.5~24	記載なし	48.5~175
	藤原1958♂	130~165	18~25	18~21.5	記載なし	記載なし
	藤原1958♀	134~155	17~24	18~22	記載なし	記載なし



写真1. 発見時のアズマモグラ (2017年10月1日).



写真4. 新見市産アズマモグラ腹部 (2017年10月1日).



写真2. 新見市産アズマモグラ背部 (2017年10月1日).



写真5. アズマモグラが確認された環境 (2017年10月1日).



写真3. 新見市産アズマモグラ側部 (2017年10月1日).